

本当に大変なのは、 ご葬儀が終わってからの **1**ヶ月

役所の
手続き

メモリー葬祭では
ご葬儀後のサポートをもらえなく
行っています。

法事
供養



役所の手続関係

- 市役所や年金事務所の手続って何をすればいいの？
- 故人の銀行口座は下してはいけないの？
- うちには相続税ってかかるの？
- 不動産の名義は変えないといけないの？

法事・供養関係

- 白木の位牌を本位牌に替えないといけない？
- 法事や納骨の作法がよくわからない、自信がない。
- 香典返したどうすればいいの？
- お仏壇を購入したいのだけれど。



まずは、専門アドバイザーによる**葬儀後にやること診断**を受けてみましょう。

1 葬儀後手続アドバイザーがお客様のご自宅へ訪問。

2 やらなければならないこと、やったほうが良いことを診断します。

3 診断をもとにアドバイス。ご要望に応じた専門家のご紹介もいたします。

よくいただくご葬儀後の手続・仏事のご質問

手続関係

Q すぐにやらなければいけない手続ってあるの？

A はい、すぐにやらなければいけない手続があります。例えば、故人が借金を多く抱えて亡くなった場合、故人が亡くなってから3ヶ月以内に相続放棄の手続きをする必要があります。

Q 亡くなった父の銀行預金はもう下せないの？うちの相続には相続税が発生するの？

A お父様の亡くなったことを銀行が知った場合、預金が凍結されることがあります。預金が下せる状況でも、他の相続人の同意を得ず、勝手に引き出してはいけません。遺産総額が基礎控除額を超える額の財産を故人が保有していた場合、相続税が発生することがあります。まずは、財産の評価が必要です。

仏事関係

Q 香典返しはすぐにしていいの？

A 四十九日法要が終了してから送ります。四十九日までの忌中期間は他者への気遣いを控えるという意味もあります。品物には忌明けの礼状を添えて、祭事が終了したことを報告します。

Q 四十九日法要ってどこでどうすればいいの？

A 菩提寺がない場合、葬儀会館、ご自宅もしくは納骨先で行います。仏式葬儀ではこの四十九日が、神道葬儀では五十日祭を行って葬儀が終了となります。規模やご事情に合わせてアドバイザーにご相談されることをお勧めいたします。

Q うちの菩提寺があるから法要は安心して任せても大丈夫？

A 何年かに一度のご法要…。でも供養の仕方は宗旨ではなく、大体が地域による慣習です。ご納骨が済むまではいろいろなケースが想定されます。菩提寺へ確認する方法などアドバイザーにご相談されることをお勧めいたします。

アフターサポートの流れ

事前サポート

ご葬儀

アドバイザーよりご連絡

訪問診断

アフターサポート

事後のお問い合わせ放題！

葬儀後サポート専任の『私にお任せください』

ご相談日： 月 日 () 時 分～

場所：

